

---

# 大切な人

狂乱

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

大切な人

### 【Zコード】

Z7530D

### 【作者名】

狂乱

### 【あらすじ】

私自身の出来事を物語にしました。これを読んで一度あなたも考えてみてください。

(前書き)

下手な文章ですが最後まで読んでみてください。

あなたは大切な人がいますか？

私（作者）はいました。それは中学生の時のお話です。

小学生を卒業し中学生になつて新しい環境で生活できるとほんとに楽しみでした。男子とは順調に友達ができ楽しい生活が送れてました。しかし相変わらず女の子とは話すことはできませんでした。声をかけようと思ったのですが声をかけようとすると緊張してしまい話せません。そうして過ごしてた学校生活に少しづつ変化がありました。

初めは些細なことでした。

学校に着くのがいつもより早く睡魔に負けないよう教室で戦つていると、

「おはよう。今日は早いんだね。」

「お・・・はよ」

クラスの女の子に話しかけられました。たつた一言がうれしかった。これをきっかけに緊張しなくなつたのかいろいろな女の子と話すことができました。しかし中学に入り初めて声をかけてくれた女の子が忘れませんでした。出会ったときは言葉には表せないほどの気持ちでこれが「これが好きになる」つて事なんだなつて思いました。（今思うと完全に一目惚れですね。）

彼女に声をかけようか迷いましたが他の女の子とは普通に話せるのにその子だけは話すことができませんでした。そしてある日、

「なあなあ、うちのこと嫌いなん？」

突然彼女が話しかけてきました。「嫌いなんかじゃないよーー」とつさにいました。君のことが「好きだ！！！」と伝えたいが今の自分には伝えることができませんでした。私は君のそばにいることができるだけで十分に幸せでした。君が困っているのなら私が助けます。君が笑顔なら私も笑顔になります。たつた一言が言えない…

。「好き」と伝えることができない。でもかならずいつか自分に自信が持てる日がくるならこの気持ちをあなたに伝えたい。いつかきっと . . .

しかしその気持ちを伝える事ができませんでした。

朝学校に着いて君を待っていると君は来なかつたよね。私は「風邪でも引いたのかなつて思つっていました。いつも元気な先生が暗い顔をして教室に入り先生の口から衝撃の言葉を聞きました。彼女は、通学途中に交通事故に遭つてしまい亡くなつてしましました。

その日1日のことは覚えていません。私は涙が止まりませんでした。いつも楽しい日々が突然と消えてしましました。もう君の笑顔は見えないの？君が困つているのを助けることができないの？君に「好きだ」と伝えることもできないの . . .

私は後悔でいっぱいでした。あの時いつておけばよかつた。「君のことが好きだ。」といつまでも続くと思つていた毎日が突然失い、不幸のどん底まで落とされました。私は暫くあまり食事も獲らずただ時が過ぎることだけを考えていました。

彼女が亡くなつて一ヶ月たつたある日わたしのところに手紙がきました。差出人は彼女でした。そこには短い文章でこう書かれてました。

初めて手紙出します。

最近あんまりうちと話してくれないね。うちはもつと話したいよ。もつと話して仲良くなりたい。

嫌われるかもしれないけどうちはこれからもどんどん話していくから覚悟しといてね。

じゃあまた学校で . . .

嫌いなんかじやないよ . . . 私が君のことを嫌いになるわけがない。私は君のことが好きだ。好きだ。好きだ。

その場でしゃがみこんでしまい泣き始めました。今更後悔しても遅い、もう彼女はいないのだから . . . 好きだとたつた一言が伝えれないだけでこれほど後悔すると思わなかつた。だからこれを読んで

くれた人も大切な人がいるなら後悔する前に伝えてください。 「好きだ」と・・・。

(後書き)

読んで頂きありがとうございます。  
大切な人に「好きだ」と伝えてください。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n7530d/>

---

大切な人

2010年10月11日02時54分発行